

箕輪町 議会だより

みんなの議会



第76号
2021.5.1



「みんなで育てるみのわっこ」

令和3年度スタート

お花見たのしいなあ

みのわ天竜公園にて

全ページ
横書きに
なりました

親しみやすい
議会だよりを目指して
誌面を刷新!!

- 令和3年度箕輪町予算 …P2
- 議案審査 ……P4~7
- 町政を問う ……P8~21
- 私たちの抱負 ……P22
- 現地確認・政策提言
議会活動日誌 ……P23
- サークル紹介 ……P24



議会ホームページ

子育て、教育に重点を置いて
「みんなで育てるみのわっこ」
～パパになるなら箕輪町 ママになるのも箕輪町～

令和3年度

予算 可決

一般会計 95億 100万円

特別会計 62億 6,195万円

総額 157億 6,295万円

「3月定例会」

3月1日～15日までの15日間の日程で行われ、
条例制定、補正予算、令和3年度当初予算、人事
案件などを原案どおり可決しました。

主な新規事業

もみじ湖周辺整備事業

ライトアップ・トイレ設置・遊歩道看板設置・
駐車場等交通誘導事業・竹の尾広場、東屋設置・
末広中低木剪定・末広駐車場区画線・案内看板設置・
転落防止柵設置・末広擬木階段設置工事

2,545万円



博物館資料収蔵設置整備

郷土博物館耐震改修に向けて、旧農業集落排水処
理施設の整備

2,176万円



整備される旧中原農業集落排水処理施設

観光商品開発支援事業

「箕輪町観光戦略プラン」の実施に向けての商品開発

100万円

結婚新生活 スタートアップ補助金

新規に婚姻した世帯に対して、新生活のスタートアップに係る経費（家賃・引越し費用等）の一部を補助します。**600万円**



子育て応援 小中学校入学祝金

新入生1人につき1万円の支援
439万円



PCB（ポリ塩化ビフェニル） 撤去処分工事

廃棄物処分期間到来に伴う工事 **755万円**

GIGAスクール 支援業務委託料

児童生徒一人1台パソコンの活用や教職員への利用支援や研修・機器管理・保守を行うICT支援員の追加配置
2,174万円



ゼロカーボン推進事業

2050年ゼロカーボン及び環境分野におけるSDGs達成に向けた行動計画等を検討 **261万円**

ウォーキング推進事業

アプリを活用したウォーキングイベントの開催
町内事業者と連携、町ぐるみでウォーキングを開催 **147万円**

消防団車両更新事業 (第1分団ポンプ車)

2,210万円



昨年配備された第6分団のポンプ車

減塩チャレンジ

生活習慣病予防のため、イベントの開催と、保健指導を推進 **82万円**

特別会計予算

特別会計予算62億6,195万円

会計名	区分	本年度当初予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	歳入歳出予算額	23億 4,760万円	5.7%
後期高齢者医療特別会計	同上	3億 609万円	3.4%
介護保険特別会計	同上	20億 8,649万円	▲4.7%
小計		47億 4,018万円	0.7%
水道事業会計 (公営企業会計)	収益的収入	5億 576万円	0.2%
	収益的支出	4億 9,438万円	0.7%
	資本的収入	1億 6,343万円	7.6%
	資本的支出	3億 1,122万円	5.7%
下水道事業会計 (公営企業会計)	収益的収入	10億 8,938万円	5.4%
	収益的支出	10億 2,738万円	▲0.6%
	資本的収入	5億 5,693万円	▲10.8%
	資本的支出	9億 138万円	▲11.0%
合計(小計+公営企業会計収益的支出)		62億 6,195万円	0.5%

多くの新規事業が可決されましたが、主な事業を掲載しました。令和3年度の税収は、コロナ禍で前年度比4億3千万円(▲12.7%)減収の見通し。

重点施策に絞った予算配分として評価した。

主な重点施策

- ①子育て・若者人口減少対策
- ②定住支援、結婚支援、子育て施策
- ③教育施策の充実

幅広く新規事業が配置された。

議案審査

1 条例制定の主なもの

○権利擁護ネットワーク連携協議会を設置する条例

高齢者・障がい者等が受ける虐待などの防止・成年後見制度の利用促進・権利擁護を促進するために協議会を設置するもの

○観光商品開発等支援補助金審査会を設置する条例

町の地域資源を活用した観光商品の開発等に補助金を交付するための審査会を設置するもの

○学童クラブ条例の一部改正

子育て世帯の支援を充実、保護者負担軽減のためクラブ利用料を引き下げるもの

区分		児童	単位	旧金額	新金額
第1・3項	通年利用児童	1人	月額	4,000円	3,000円
		2人以上 (最も年齢が低い児童以外)	月額	2,000円	1,500円
第2・3項	長期休業日利用児童	1人	月額	4,000円	3,000円
		2人以上 (最も年齢が低い児童以外)	月額	2,000円	1,500円
第4項	通年利用児童・長期休業日利用児童の内、 1月の利用日数が10日以下の場合	1人	月額	2,000円	1,500円
		2人以上 (最も年齢が低い児童以外)	月額	1,000円	750円
第5項	休業日、又は長期休業日に利用する場合		日額	200円増	150円増

○移住体験住宅設置条例の一部改正

- 短期体験住宅：
使用料無料(3日以上7日以内)
- 新たに長期体験住宅：
「メゾンみんなのわ」使用料月額30,000円とするもの(30日以上1年以内)



メゾンみんなのわ

○特別職の非常勤職員報酬および費用弁償に関する条例の改正

消防団員の団員報酬を年額12,000円を15,000円に改訂するもの



2 補正予算

農業委員会	農地利用最適化推進委員報酬の追加に伴う	821万円
商工振興費	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金への積立金	3,000万円
道路維持費	降雪増加による凍結防止剤購入費の増	200万円
	降雪増加による除雪	750万円
	凍結防止剤散布業務委託の増	
防災・安全社会資本整備総合交付金事業費	橋梁補修工事の増	400万円
小学校管理費	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に伴う各種消耗品等の購入費	316万円
中学校管理費		141万円
屋内体育施設管理費	ながたドームコインタイマー故障等に伴う修繕	300万円



3 新型コロナウイルス感染症関連の 主な対策



	事業名称	事業の概要	予算額
町 単 独 事 業	キャッシュレス化事業推進交付金	商工業者等に導入するキャッシュレス化事業の初期導入費用等へ支援を行う	1,000万円
	取引業者危機突破支援金	新型コロナ感染症により、売りに影響を受けた町内飲食店等と取引のある事業者に支援を行う	500万円
	新型コロナ感染症対策 利子補給基金積立金	新型コロナウイルス感染拡大により、影響を受けた企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成し積立てを行う	3,000万円
	町商工業振興資金利子 補助金	町の制度融資の借入者に対する利子補給(利子全額町負担) 令和3年度以降	2,900万円
	県制度融資に対する 利子補助金	県のコロナ対策制度融資に対する上乗せ助成(2年間分の利子を補助) 令和3年度以降	3,000万円
	修学旅行キャンセル料補 助金	新型コロナウイルス感染症による中学校修学旅行キャンセル料の補助	95万円
	若者検査費用補助金	やむを得ず県外との往来をしなければならない学生の新型コロナウイルス感染症の検査費用の一部を補助する	200万円
	災害避難所の感染症対策	3密状態をさけるための、パーテーション簡易ベッド等を整備	79万円
	生活困窮世帯支援	新型コロナウイルス感染症の影響で生活が厳しい世帯へ日用品等を支援する	131万円
国 関 係	新型コロナウイルスワク チン接種事業	新型コロナウイルスワクチン町民への円滑な接種を実施するための経費	1億8,440万円
	障がい者総合支援事業費 補助金	地域活動支援センターの感染予算対策に伴うサーモカメラ等の設置に係る予算	17万円

4 農業委員 14 人に同意

赤沼好秋(新) 井口雅文(現) 春日 初(新)
 金澤 博(新) 唐澤金実(新) 唐澤健二(新)
 唐澤 稔(新) 倉田孝子(新) 小林正俊(新)
 櫻井克成(新) 鈴木健二(現) 原 美鈴(現)
 藤田久一(現) 藤森英雄(新) 敬称略

5 固定資産評価審査委員

中坪秀次(再) 敬称略

6 意見書の提出

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

7 委員会審査の概要

総務産業常任委員会

令和2年度箕輪町一般会計補正予算(第13号)

問 地方税の税収補填債4,000万円の内訳は何か。

答 地方消費交付金2,120万円、たばこ税1,660万円、地方揮発油譲与税220万円の合計金額である。

問 通信運搬費が増額になっているが、コロナ対策費の補助はないのか。

答 臨時交付金の対象になるが、他の事業を対象とした。

箕輪町移住体験住宅設置条例の一部を改正する条例制定について

問 現在は短期・長期各一棟ずつだが、将来的に増える可能性はあるか。

答 空き家調査も進めている中で所有者との調整が取れ、有効利用出来る物件が有れば増えることはある。

箕輪町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の一部を改正する条例制定について

問 変異株も含まれるか。 **答** もちろん、含まれる。

令和3年度箕輪町一般会計予算

問 豊島区の森林環境譲与税はどこに計上されているか。

答 歳入は、林業振興費・「としまの森」整備費負担362万円。歳出は「としまの森」整備業務委託料



整備が進む ながた自然公園内
「としまの森」

問 空き家補助金に対応する歳入は。

答 すべて町の単独事業である。

問 新電力・関西電力への切り替えることでどのくらいの原価低減効果が期待出来るか。

答 高圧電力のみだが、平成31年度ベース換算で約400万円位下がる見込み。

問 ふるさと納税は約6,000万円前後で推移しているが、もう少し増やすことを考えてはどうか。

答 返礼品の充実を図って行きたい。

問 みのわテラスのトイレは町直営で公衆トイレの意味合いも加味しているとのことだが、24時間開放か。



答 エリア内の営業時間に合わせて使用可能時間にする予定。よって24時間開放にはしない。また、終了時には施錠する。

問 ファームテラス事業は、町の方向性とJA上伊那の運営方法に違いが生じた時はどう対応するか。

答 やまびこテラス含め他の指定管理も同様に、都度話し合いを持ち、双方合意の基に運営を進めて行く。

問 やまびこテラスの指定管理者納付金の歳入が計上されていないが。

答 現況下で予測が立たないため、補正で対処したい。

問 有害鳥獣駆除対策事業費の重機借上料は、何に使うのか。

答 駆除した動物の死骸は穴を掘って埋設処理をすることになっている。

令和3年度箕輪町水道事業会計予算

問 企業債管理システムはどういうものか。

答 昨年度から上伊那広域で新企業会計システムにした。今年度は固定資産管理システムを導入、来年度は、企業債管理システムを更新。償還管理とか決算統計など過去手作業で行っていた状況分析をシステム化した。

令和3年度箕輪町下水道事業会計予算

問 受益者負担金2,310万円は誰が負担するものか。

答 新規下水道接続者55万円×42軒分の見込み。

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

《賛成》

・コロナ禍でもあり少子化の問題も有るので最低賃金を引き上げるべき。また、この陳情は賃上げだけでなく、政府に中小企業支援も求めている。

《反対》

・企業の方もコロナ禍で大変な思いをしている。状況的に引き上げは不可能。コロナ禍の中、企業側にそれに対応できる体力がない。

《一部採択》

・企業側も厳しい中、政府の支援拡充には賛成。生産性を上げ付加価値を高めて初めて賃上げに繋がる。経営が継続できるよう中小企業の支援を最大限拡充して国民の生命と暮らしを守ること。

福祉文教常任委員会

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

問 高齢者タクシー助成券の200万円減と伸びなかった理由は。

答 高齢者の非課税世帯で車を持たない人が対象、民生委員にお願いし掘り起こしをしたが、申請162人で134人の該当にとどまった。

問 個人番号カードの負担金が629万円増額。交付状況と目標は。

答 2月28日現在交付申請6,705人で5,197件の交付。交付率は21%となる。目標は1万枚交付率40.3%。

問 児童手当1,251万円減額の理由は。

答 延べ1,000人の児童減少が要因。

問 ながたドームのコインタイマー故障等に伴う修繕費300万円の内容は。

答 現在使用のコインタイマーは生産中止となり、デジタルのプレイングタイマー方式を取り入れるため。

問 中学の修学旅行が中止となり、発生したキャンセル料95万5千円は。

答 内訳は宿泊予定の旅館分のみ。保護者負担はなかった。

問 教員住宅跡地利用の予定があるのか。

答 財産管理担当課に所管を移して、不動産業者または個人に宅地として売却の予定。

問 みどりの資源リサイクルステーションの粉碎機は剪定枝が増加のなか、修理でなく大型に更新した方がよいのでは。

答 剪定枝の搬入が非常に多くなってきている。処理方法も再検討しながら性能アップも検討していく。

令和2年度箕輪町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

問 延滞金・加算金の収入が414万円増加した理由は。

答 対象が906件で、大口の入金があった事、長野県地方税滞納整理機構の努力によるもの。

令和3年度箕輪町一般会計予算

問 高齢者タクシー助成金240万円支給範囲は。

答 高齢者で非課税世帯のみではなく課税される方も対象とした。

問 認知症賠償保険を取り入れた理由は。

答 すまいるサポーター事業への加入誘導を図るため、負担金は1人2千円。

問 難病患者福祉金の対象者は。

答 特定疾患認定患者、ウイルス肝炎、小児麻痺、人工透析をおこなっている方が対象。1人2万5千円で236人。

問 「生ゴミ処理モデル事業」は、令和3年度も続けるのか。

答 コロナ禍で地域の皆さんに説明ができないので1年延ばし令和3年までとした。

問 子育て応援小中学校入学祝金1人1万円は今後も継続していくのか。

答 当面続ける。

議案第21号について

問 英語検定受験手数料99万5千円の内容は。

答 中学3年生全員を対象に11月頃実施予定。

問 英語教育の評価を求めるところと子どもたちに合否が出てくる事に対して、子どもの気持ち学校の考えなどを考慮すべきでは。

答 教育委員会の中で十分議論をし、実施に当たっては学校と話し合っていきたい。

議案第21号に附帯決議をする旨の動議が出され、採決の結果、全員一致で委員会で附帯決議書を提出した。

附帯決議書

令和3年3月定例会に提出された、議案第21号「令和3年度箕輪町一般会計予算」について10款3項2目に英検受験手数料が計上されている。

業者の行う英語検定については、受験結果の合否が明確に示されることから、さまざまなことが懸念される。

そのため、本事業の実施に当たっては、慎重な対応が求められる。

以上のことから、英語検定の受験については以下の点に留意し、適切な対応を求めるものである。

記

- 1 生徒・保護者の十分な理解と協力の下で行うこと。
- 2 学校現場の意見を尊重すること。

以上、委員会の意思を明確にするため決議する。

令和3年3月12日

福祉文教常任委員会

町政を問う

ここが聞きたい



主な質問	議員	ページ
コロナ対策交付金は直接支援を	岡田建二郎	9
ICT教育の成果と今後の期待値は	金澤 幸宣	10
令和3年度一般会計予算(案)より	伊藤 隆	11
コロナワクチン接種日程、態勢は	入杉百合子	12
地震等は夜間に多い、夜の訓練を	松本 五郎	13
箕輪町ICT教育の現状と課題は	中村 政義	14
困窮者の継続的な支援の充実を	釜屋 美春	15
鳥インフルエンザ対策は	寺平 秀行	16
地域ぐるみで子育ての町づくりを	唐澤 敏	17
0～2歳児の保育無償化の実現は	青木 俊夫	18
林縁部へ緩衝帯設置を	中澤千夏志	19
コロナ禍 ふれあい機会の復活を	小出嶋文雄	20
みのわテラスの今後の展望について	荻原 省三	21

一般質問はどなたでも自由に傍聴できます

一般質問は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）で、町政全般にわたり町長その他の執行機関に対し、自由な質問内容を開会日の翌日正午までに議長に通告することとしています。議員一人の制限時間は55分で、一問一答方式を採用しています。3月議会では、3月8・9日の2日間に、13人の議員が質問しました。

写真の解説

瀬負石 (せおいせき)

天保洪水の復旧工事に使用されたもので、大石を二つ運んで、所在。年月、村中を刻銘して堤防にした。また、その役割から「瀬負石」と名付け、長岡村の水防の歴史の記念碑とされたと伝えられる。



クイズ
この場所はどこ？
答えはP24下

コロナ対策交付金は 直接支援を

町長 臨時議会で必要な確認を講じる

岡田 建二郎 議員



問 労働者や高校・大学の新卒者など、長引くコロナ禍で就業に困難を期している町民も多い。約1億2千万円の配分となる第3次コロナ対策交付金は、生活や就労支援、業者への営業支援など、町民の抱える困難を把握し直接支援を。

町長 新年度当初予算に高齢者や障がい者の外出支援など、6,500万円のコロナ対策事業を計上した。4月から5月で労働局の数字も明らかになるので、実態をよく見て必要な施策を講じたい。

福祉センターの 移転について

問 JA箕輪町支所の敷地内に令和4年度中に建設予定の複合施設は、解体が予定されている福祉センターの機能を強化し、箕輪町での福祉施策の拠点となるよう整備すべき。また、若者が趣味や興味を深められるよう、中高生の要望を把握し、意見を十分に反映した計画立案を。

町長 第一義的には、現在の福祉センターの利用者の活動に支障のないような機能を備えたい。さらには若者が街中で活動できる場を確保するためにもアンケートを実施したのでしっかりと要望を取り入れたい。

生活保護申請について

問 ①新型コロナウイルスの影響が長引き、外国人労働者はじめ、町民からも生活困窮の実態が報告されている。生活保護申請の現状は？

②厚生労働省は生活保護申請の窓口での対応を柔軟にするよう通達

を出した。町HPも厚労省の例に沿って「生活保護は国民の権利」「困ったら迷わず相談を」と改善すべき。

町長 ①生活保護申請件数は一月末時点で87件で、昨年と比較し10世帯12人が増加している。コロナ禍での生活状況の悪化が懸念されている。②現在の町HPは丁寧さに欠け、誤解を招きかねない。厚労省のHPを参考にして訂正し改善する。

The screenshot shows the official website of the Ministry of Health, Labour and Welfare (厚生労働省). The main heading is '生活保護を申請したい方へ' (For those who want to apply for life protection). Below this, there is a green box with text: '生活保護の申請は権利の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、ためらわずにご相談ください。' (Applying for life protection is a right. The possibility of needing life protection exists for everyone, so please do not hesitate to consult.) There is also a link to a PDF document: '福祉事務所一覧 [PDF形式: 1058KB]' (List of welfare offices [PDF format: 1058KB]).

Overlaid on the right side of the screenshot is a notice from the town office (箕輪町役場) with the heading '誤解を招く箕輪町HPの記載' (Misleading information on the town HP). The notice text is partially obscured but appears to be related to the town's website content.

「権利」と「相談」を訴える厚労省HP



金澤 幸宣 議員

ICT教育の成果と今後の期待値は

教育長 機器・活用能力・授業づくりの可能性大

問 北小総合学習会議を傍聴し一人一台PC授業を目の当りにした。導入後半年経過した今、当初予測の成果と今後の更なる期待値は。



北小4年の一人一台パソコンの授業

教育長 子ども達は予測以上に非常に飲み込みが早く既に使い熟している。学習活動の広がりやパソコンの所持機能、子どもの活用能力、教員の授業づくりの3つの可能性に大いに期待する。

問 公務支援システムは教員の長時間労働解消に寄与したか。

教育長 会議短縮、成績処理の効率化、勤務管理による時間外勤務縮減など広範囲に改善効果を実感した。

問 コロナ影響による前倒しもあり、急激に環境整備が進んだ。教員の順応度合いはいかがか。

教育長 教員は探求心・使命感が強く、使い慣れるに従い予想以上に順応した。更にバックアップしたい。

誰ひとり取り残さない災害支援を

問 支援者名簿作成と同様に地域支えあいマップの更新も町主導で各区に働き掛けを行うべきでは。

町長 災害時の名簿利用含め町の責務であり、各区・常会が両者と連携を取って進める。



支援者名簿と照合しながら地域支えあいマップの更新作業をする区役員

問 外国人避難支援の具体的な計画や取り組みの進捗は。

町長 4月から導入の防災アプリに「やさしい日本語」と併せ英語・中国語・ポルトガル語の自動翻訳機能が付く。町オリジナル災害時多言語マニュアルの作成も計画中。

形骸化した財産区議選挙の見直しを

問 実際に選挙実施された時の町議会議員選挙と執行費用の予算計上とは整合が取れているか。

町長 整合は取れていない。財産区議選が執行になった場合の必要経費は他にも有るが見込んでない。

問 今回初めて適用された供託金：15万円/1人の対処はどうしたか。

町長 区の要望等に基づいて一定の処理をさせていただいた。

問 形骸化しているこの選出方法を今後も継続して行くのか。根本解決に向けて具体的な働き掛けは。

町長 供託金制度は不要と思う。各財産区のあり方が長期的な視点での検討課題。一概に今の財産区制度の是非は論じられない。各区で将来構想を立て、それに対して町で支援して行く。

その他の質問

●当町の女性活躍の実態は

令和3年度一般会計 予算(案)より



町長 多くの予算化は財政的に厳しい

伊藤 隆 議員

問 複合施設実施計画の1,600万円で、JA箕輪町支所内へ多世代にわたる住民の居場所となる整備を進めるとあるが、内容は何に利用するか。

町長 概ね3～4億円の事業で建設予定。補助金又は交付金などを考えている。4年度の事業で5年度には開設をしたい。子供から高齢者まで誰もが気軽に使える場所にしたい。

問 高齢者外出支援券配布で75歳以上の方々に4,000円分のクーポン券を配布するが、灯油券や買物券の配布は出来ないものか。

町長 そのような意見もあるが、今回の事業はコロナ感染対策としての利用範囲を限定している。

観光地の整備と提案

問 もみじ湖周辺整備事業には2,545万円の予算が盛り込まれている。一部道中は拡幅整備されたが昨年は他の場所でも大渋滞を起こしている。今後渋滞予想箇所の整備等はどのようにするのか。

町長 もみじ湖周辺の整備については必要性が高いと考えている。景勝地としてのもみじ湖の渋滞対策は継続的に整備をしてい

く。今後は、交通誘導員の配置等をしていく。伊那建設事務所に今後をお願いをしていく。

問 私の提案。大型バスやマイクロバスは一番奥の駐車場まで直行、自家用車の内、身障者、チャイルドシート使用車は長岡入口で通行許可証を発行。早期の来訪者は末広駐車場へ誘導し、シャトルバスで送迎するとの提案。

町長 観光地としてあの地をそれだけで見ていくのか。渋滞対策は町としての優先順位は低いと思う。例えばダム下公園を駐車場としてシャトルバスを動かすなどの考えがある。しかしそこまでの必要性があるのか議論をしていきたいと思う。



複合施設の建設予定地

その他の質問

- 区や常会への加入対策
- キャッシュレス化に伴う町と商工会の方針
- 南信交通災害共済について



入杉 百合子 議員

コロナワクチン接種 日程、態勢は

町長 集団接種と個別接種の併用を検討

問 新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールと態勢は。

町長 国や県の動きもあるが、希望する町民ができるだけ早期かつ簡便にできるよう、医療機関に協力してもらいながら準備を進めている。

5月の連休明けから高齢者の接種を実施し、その後7月頃から一般の方となり、11月、12月までかかるのではないと思う。高齢者を対象にした接種に関する意向調査では75%が接種を希望。集団接種と個別接種を併用した実施を検討している。

問 全ての業務を職員と医療関係者のみで行うのは難しい。ボランティアを採用しては。

町長 予約の状況次第で必要な人数は変化する。一定の人数は委託契約で用意し、町の職員と組み合わせ実施をしたいと思っている。

問 アレルギーの副反応に対する処置の準備と態勢は。

健康推進課長 接種会場となる医療機関や集団接種会場でエピペン、携帯酸素、AED、パルスオキシメーター、ステロイド剤など必要な物品を準備する。

成年後見制度の周知の強化を

問 高齢者のみの世帯や障がい者の家族の高齢化が進んでいる。成年後見制度の周知の強化をすべきでは。

町長 制度の啓発パンフレットの作成や町民向けの講座などで周知する。来年度につくる新組織で、

専門家の助言を得ながら、制度の利用促進と相談体制の整備を進めたい。

多胎児家庭に育児のサポートを

問 多胎児家庭の子育ては外出困難など負担が大きい。支援の拡充を。

町長 家事や育児を支援するヘルパーさんを派遣する養育支援訪問事業や、短期入所生活支援事業がある。ファミリーサポートの事業を充実していきたい。



その他の質問

- JA 上伊那箕輪町支所敷地内の複合施設の構想は
- 小・中学校ICT教育の現状と課題は



地震等は夜間に多い、夜の訓練を

町長 夜間訓練の重要性はあり、検討する

松本 五郎 議員

問 夜の防災訓練を当町では行ったことはない。東北・熊本地震等も夜間から夜明け前に起きている。寝ている時の災害は心構えができていないため、危険度が高い。防災無線・新アプリ等で夜間の災害を想定して、訓練を行うことは可能であり、実施している地域は命を守ることができた事例もある。夜の防災訓練を行うべきでは。

町長 町内一斉防災行政無線を放送することは配慮しなければならないが、防災アプリを活用することでは夜間訓練の重要性はある。検討したい。

災害時用、トイレ備品等の展示を

問 災害時に使う備品・災害時用トイレを普段使用することがないため、知っている人は少ない。災害時に抵抗なく使うことができるよう、住民が立ち寄る公共施設に展示を。

町長 災害時に使う備品等は倉庫に眠っている。展示する方向で検討し、具体化していきたい。

災害緊急時に「やさしい日本語」を

問 災害時に適切な行動がとれるように考案されたのが「やさしい日本語」の始まり。子ども・高齢者・外国人・障がいを持った人に災害事情を正確に伝えるために「やさしい日本語」の使用を。

町長 災害時だけではなく、役場窓口でも情報が行き届くことが必要であり、危機状況、危機管理ができるようにしたい。外国人が理解しやすく活用を進める。

マウンテンバイクトレイルコースを

問 自転車は健康面、精神面、業務効率に良い影響がでていて、大正大学の研究成果で報告されている。近隣の市町村でもマウンテンバイクトレイルの人気の高まっている。ながた自然公園の環境が良い森を活用し、マウンテンバイクトレイルコースの建設を。



町長 高低差があり過ぎ、実施できるかが不安。左右も使うことで可能性もあり、時間をかけて検討したい。



災害時用のトイレ



ながた自然公園の環境の良い森



中村 政義 議員

箕輪町 ICT教育の現状と課題は

町長 重点課題として取り組んでいく



ICT授業風景

問 町のICT教育の現状と課題は。

町長 平成26年当時タブレット導入を箕輪町の学校教育の特色として県内でも早い段階で行ってきた。今回GIGAスクール構想が実験をするという中で、単なる学校教育の特徴ではなく、学びの場としてのICT環境を整備し、行政としてカバーしていく。有効活用できるように、町は重点課題として取り組んでいく。

問 タブレット家庭使用時の接続は。

教育長 児童生徒に1台ずつ配備したタブレット端末は、昨年12月に持ち帰りテストを行い接続率は94%であった。接続できなかった6%、役100人には、モバ

イルルーターを貸し出すなどして対応する。



ICTタブレット説明

消防団の活動状況及び出動率は

問 消防団の活動状況及び出動率は。

総務課長 令和2年度はコロナ禍ということもあり、消防団活動の多くが縮小または中止となった。多くの人数が集まったの訓練や行事は行えない中で分団単位、感染拡大防止に配慮した点検・訓

練を工夫して実施した。出勤率は400人中214人（53.5%）と昨年と比べ若干増加した。

問 町消防団の団員報酬増額の考えは。

町長 一般団員の団員報酬は、現行12,000円を15,000円に引き上げる条例改正を今定例会に提出。班長以上の団員についても、今後見直しを検討していきたい。

町の観光戦略プランの課題と展望

問 箕輪町観光戦略プランの課題と展望を整理したうえで、町の観光地としての力をどのように考えるのか。

町長 町には潜在的な観光スポットはあるが、観光事業の担い手が少なく産業化のハードルは高い。今ある資源を活用した誘客方法を考え観光力を高めていきたい。

その他の質問

- 町職員の幹部職員確保について
- 受動喫煙防止条例について

困窮者の継続的な支援の充実を



町長 個別支援プランで継続支援を充実

釜屋 美春 議員

問 長引く新型コロナウイルスの影響で貧困をはじめとして、引きこもり自殺・虐待など悩みは多様化しており継続的な支援が必要。国は令和3年度から多機関にまたがる相談窓口の一本化をはかる『断らない相談支援』を設置する市町村に【重層的支援体制整備事業】として財政支援をおこなう。当町での『困りごと相談』窓口の現状と課題、今後の取り組みは。

福祉課長 町では令和2年4月から福祉課と社協が連携し『困りごと相談票』を用い、住民の相談を受け付け、役場各課や県の機関・まいさぼ等と連携して相談者を支援し『断らない相談支援』として成果を上げている。今後は継続支援やアウトリーチ、個別プランを作成し支援を評価した上で、より適切な支援につなげる。また相談窓口を見える化し周知していく必要がある。



個人情報保護されます

デマンド型タクシーの実証実験は

問 デマンド型タクシーの実証実験をどのように進めて行くのか。

町長 現在の「みのちゃんバス」を、中学生の通学、市町村間での移動、「ながたの湯」への足、伊那本線とのつながりなどの仕組みづくりが必要。デマンド利用者は登録制とするが、高齢者・障がい者・免許返納者等には何らかの方策を考えたい。停留所は区や常会と相談。課題は目的地に医療機関・小売店・金融機関・役場のほかに個別のものをどれくらい入れるのか。予約の方法をどうするかなどがある。早くても秋口から高齢者を中心に希望者による実証実験を始めたい。

JR沢駅にトイレの設置を

問 JR沢駅に長年トイレの設置を求める声が多いが今後の見通しは。

町長 沢駅付近にある消防団の詰所や沢グラウンドのトイレで代替できるとは思っていない。どこかの段階で具体化していきたい。



JR飯田線沢駅

困りごと相談票

①困りごと相談窓口
 真稀町役場 福祉課 地域福祉支援センター又は社会福祉係
 電話 0265-79-3111 (内線 1422・1410)
 真稀町社会福祉協議会 ふれあいグループ
 電話 0265-70-9999 soujaku@shinowake.jp
 電話 0265-70-7075
 FAX 0265-79-6770 soujan@shinowa-shakyo.or.jp

相談内容
 経済的なこと 仕事・就職 ひきこもり
 家族のこと 介護のこと
 病気のこと 子育てのこと
 障がいのこと 障がいのこと
 その他 (具体的に記載できれば記入してください)

記入者氏名 _____ 住所 町内・中野村・中野原 三日町 湯子・東箕輪
 記入者生年月日 _____ 市外 _____ 市 _____ 区 _____
 電話 (自宅・携帯) _____
 ※印字に制限がられる番号を記入してください

下記の署名をもって、この連絡先の記載事項の内容を関係する相談機関に提供することに同意します。
 令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 記入者 署名 _____

その他の質問

- 「イクボス・温かボス」事業の成果
- 男性の育児休業取得率アップを
- 複合施設の管理・運営方法は



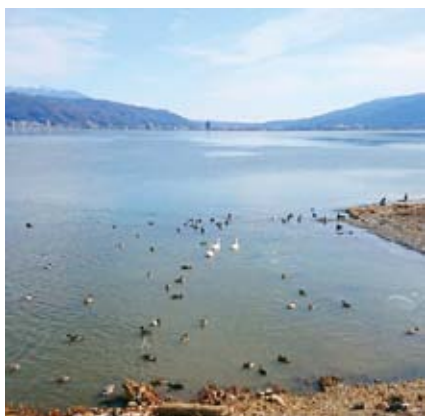
寺平 秀行 議員

鳥インフルエンザ 対策は

課長 ^{かぎん} 町内家禽飼養者が緊急消毒実施

問 諏訪湖の水から鳥インフルエンザのウイルスが検出された。なぜ鳥の病気なのに恐れられているかという、毒性が強く将来この病気が人間から人間にうつり始めることが予想されているから。対応は。

産業振興課長 今年度は、昨年の11月香川県で発生が確認されて以来、県がすべての家禽飼養者に消石灰を配布し、12月から3月まで月1回の緊急消毒を行うことになっている。町内では6戸の家禽飼養者がいるが、消石灰の配布を受けて毎月消毒を実施している。町内及び上伊那管内で鳥インフルエンザが発生または発生の疑いがある場合、規定に基づき防疫措置など対応を実施する。



町税大幅減収で 事業への影響は

問 町税収入の大幅減少について、3年度は国が地方に配る地方交付税や借金である臨時財政対策債の増額で助けられている。事業への影響は。

町長 財政調整基金が14億円あるが、10億円を下回ることになれば先送りをする。

デジタル教科書導入 どうする

問 箕輪町が参加するデジタル教科書の実証事業はどのような内容になるのか。

教育長 小学校5,6年生に1教科、中学校全学年に2教科のデジタル教科書を無償提供し活用状況を把握する。小学校5校でそれぞれ国語、算数、理科、社会、英語の1教科ずつを、中学校では3学年とも数学を希望している。中部小学校は特別枠として全学年で国語のデジタル教科書の提供を希望している。

減塩対策の背景と 取り組みは

問 4年前の中央公論に「脳卒中死亡、衝撃の地域格差」という記事の掲載があった。全国2次医療圏ごとの脳卒中死亡率が載っていたが、上伊那医療圏は女性の死亡率が344か所の医療圏のうち全国9位、男性も高い死亡率となっていた。町では健康寿命の延伸・医療費の削減を目的として減塩チャレンジを3年度に行うそうだが減塩対策の背景と取り組みは。

町長 実は高血圧の症状をお持ちの方が非常に多い。現状、国民健康保険で3人に1人、後期高齢者で2人に1人が血圧で治療を受けている。重篤な疾患を予防するうえでは早い段階から血圧管理が重要。さわやか検診などで尿中の塩分測定を実施したい。



その他の質問

- ゼロカーボンに向けた取り組み
- ICT教育について
- 孤独対策について

地域ぐるみで 子育ての町づくりを

町長 地域コミュニティを活性化する

唐澤 敏 議員

問 長期化するコロナ禍における、新年度予算編成についての所見は。

町長 コロナ対策は、補正を含めて今後も対応していく。財政状況が厳しいが、少子化対策や未来に向けた投資も意識した編成を心懸けた。

問 子育て政策の方向や進め方は。

町長 経済的な支援を含め総合的に子育て対策を進める。子育て機運の醸成も図るため、子育て支援PR委託事業も新年度予算に盛り込んだ。

問 学校と地域の連繋での課題は。

教育長 信州型コミュニティスクールとして、開かれた学校づくりに取り組んでいる。地域の特色を生かした様々な活動で、地域ぐ

るみの子育てを目指している。学校と地域をつなぐコーディネーターの人選などに、長期的な課題がみられる。

問 これからの地域づくりに資するような社会教育に取り組めないか。

教育長 今後の公民館活動で、課題解決型の活動を通して地域コミュニティの活性化を進めていく方向が大切だと思っている。参加者が地域で主体的な活動ができるようになるための、地域コミュニティを意識した公民館活動のあり方も考えたい。

問 小学校区を基盤とした地域コミュニティづくりによる、子育て・教育に関する政策提言の受け止めは。

町長 公民館活動を、まちづくりの分野に持ち上げていく必要が

ある。区を超えたコーディネーターの活躍する場面づくりも研究してみたい。

農業振興施策の充実

問 農福連携の取り組み推進を。

町長 町内でも連携事業が始まっており、受け入れニーズの把握などの調査を検討する時期にきている。

デジタル化政策の推進

問 産業のデジタル化への支援を。

町長 支援相談員のサポートのなかで、国・県・町の補助金等を活用したい。

その他の質問

- 「地域コミュニティ活性化に向けた提言」について
- 家族農業を維持・拡大するための支援について
- スマート農業の導入と展開について
- デジタル化社会への対応と第5次振興計画の見直しについて



しめ縄づくり(信州型コミュニティスクール) 箕輪北小学校 2019年12月20日



青木 俊夫 議員

0～2歳児の 保育無償化の実現は

町長 経済的負担の軽減は大事な観点

問 町、教育現場における子供減少の現状認識は。

町長 人口減少対策は一定の成果を上げつつある一方、出生数は本年度過去最低の137人を見込む。人口ビジョンで少子化対策を見直す必要がある。

教育長 出生数が来年度以降も同様に経過すれば学校運営の在り方を検討していかざるを得ない。少人数でも豊かな学びが実現できるように。10年先を見据え、町・教委・地域・保護者・学校が集まり、覚悟を持って話し合う段階に入ってきていると感じる。

問 危機的な子供減少社会に歯止めをかける為、今後考えられる効果的な施策は。0～2歳児の保育無償化の実現はできないか。

町長 親が子を育てるという責務の中で一定の保育料負担は必要と思っていたが、国策を踏まえ、やっていかなければという思いもある。経済的負担の軽減は大事な観点。町がその部分に踏み込むかは今後の研究材料としたい。

問 町にとっても子供は一番の宝。財源も含め選択と集中で痛みを伴ってでも、今取り組んでいかなければ将来手遅れになるのでは。

町長 いかにか子供減少に歯止めをかけるのか、新たな施策を打つのか予算全体を含めて考えてみたい。

町観光戦略プラン、総合福祉計画策定の狙い、今後の推進管理について

問 ①本戦略を観光に関わる幅広い町の事業者と共有し、観光振興をどう進めるか。②今回策定された福祉計画は従来の福祉計画の上位計画に位置づけされたが、従来計画との違いは。

町長 ①観光分野に詳細な計画を立てて観光プランは産業としてどうあるべきかの視点で策定。②福祉計画は福祉政策を展開する中で各種協議会に周知を図り、円滑に進むよう、きめ細かな政策を立て実施することを目的とした。



未満児保育の様子

その他の質問

- 10年後、20年後の箕輪町の景色はどのようになると思うか

林縁部へ緩衝帯設置を

町長 森林火災の課題は同様の認識

中澤 千夏志 議員



問 財産区有林を広葉樹林に誘導すべきでは。里との林縁部への緩衝帯設置をすべきでは



箕輪町西部地区山林の樹種

町長 広葉樹林を施業していくにあたって専門家がいらない。解決策を示した上で、今後のビジョンをつくりたい。具体的な方策が必要であれば事業検討のため申し付け、補助事業化を提案していきたい。緩衝帯の設置について森林火災の課題は私も同様の認識。所有者の皆さんができないところを森林経営管理法の守備範囲の中でやっていく必要がある。

財産区有林ビジョンをひなたGISで

問 町が主体的に森林をゾーニングし、財産区有林のビジョンを各区に提案、合



ひなたGIS

意をいただいて具体的にしていこうというプロセスが大切。助言、指導ツールとして林業ICT「ひなたGIS」を活用すべきでは。

町長 林業総合センターの戸田主任研究員の提案を受けて、森林の機能が発揮できるような整備が必要とだと感じた。災害の防止、水源の涵養、木材生産等、ゾーニングをすることによって土地を決めていくという作業が必要とも。高度な専門技術や知識を知って身につけてもらうために活用することについて異存はなく。町としても森林ゾーニングは森林経

営管理制度の中でやらなければいけない事、財産区の状況も踏まえ考えていきたい。

空き家レンタル月15,000円で

問 ①移住定住促進策として空き家を十年間、町が借り受け15,000円で賃貸の仲介する実践事例がある。制度設計の見直しをすべきでは。②都会の人材をローカルベンチャーの起業を前提に地域おこし協力隊として町に採用されては。

町長 ①空き家の調査も終わりその辺を検討させていただく。②提案は実現可能性がある。林業経営体が少なくてなかなか進まない。起業をすることによって地域おこしにもつながる。可能性を探ってみたい。



「もりもり上伊那山の感謝祭」記念講演する長野県林業総合センター戸田主任研究員



もりもり上伊那山の感謝祭資料

その他の質問

- 二酸化炭素永久固定策バーク堆肥と農地に炭を推奨すべき
- Jクレジット制度に町もJAも参加を
- 浜松市の森林環境譲与税の誘導を
- 誕生祝金見直しを



コロナ禍 ふれあい機会の復活を

町長 知恵を出し合って新たな取組みを

小出嶋 文雄 議員



いきいき塾に参加している皆さん

問 新型コロナの感染拡大防止で、ふれあいの機会が減ってしまっている。地域のつながり、日常生活の中での精神的な影響、老人のフレイルなどの影響が出てきているが、感染対策を十分にする中で、ふれあい機会の復活を考えていく必要があるのでは。

教育長 町公民館事業は大勢人を集める行事は中止となったが、公民館大学、学級、講座は感染対策をして実施している。学校行事も見直しを余儀なくされているが、知恵を出し合って新たな行事を作り上げた経験をもとに、新しい時代に合った子供たち主体の取り組みにしていきたい。

町長 地域のふれあいサロンは半数が休止状態にある。フレイル予防の観点から実施ができるようお願いし、感染防止対策の支援もしていきたい。一人暮らし高齢者生活実態の調査を実施しており、地域の皆さんの協力を得て適切な支援に繋げていきたい。生活困窮者の借入金の返済や就労支援について、社協やマイサポ、町などチームで相談体制を整備していきたい。



新設する複合施設の目的は

問 複合施設整備の目的とニーズの把握は。

町長 社会福祉総合センターの現地建替えができないことの受け皿と町内に誰もが気楽に利用できる居場所が少ないことなどから、学生とか若者が気楽に利用できる場所が必要と考え整備する。文化センター、福祉センター利用者、町内在住高校生を対象にアンケートを実施して、リースペースの会議室・学習室・カフェなどが必要との回答があった。これから地域や商工団体とも話し合い、利用想定者によるワークショップで機能などを決めていく。管理の方法・建設手法・駐車場の活用も議論していく。

その他の質問

- 観光客と商業・農業のつながりを
- 観光シーズンのもみじ湖にシャトルバスを

みのわテラスの 今後の展望について

町長 箕輪のランドマーク、情報発信基地に

荻原 省三 議員



問 ファームテラスみのわ直売所への抱負は。

町長 4月3日のグランドオープンに向けて最終段階に入っている。駐車場は120台を確保、内覧会も実施した。3月27日(日)は8時30分よりセレモニー、9時よりオープン予定。

副町長 当地域では農産物の少ない時期のため、JAの力を大いに活用し顔の見える関係で安心安全なものを入れて頂く。辰野・上伊那地域の皆さんにも利用して頂き、八乙女共選も合体し賑わいの中に取り込めたらいいのではと考えている。

問 みのわ加工(株)は、箕輪町の牛乳でどのような加工品を考えているか。

町長 昨年^{ひょう}の雹害の中、果樹・野菜の6次産業化として加工品ができた。牛乳については、ヨーグルトだけでなくアイスクリームも町の産品として販売できる方策を今後の検討課題とする。



副町長 箕輪の加工で果樹と酪農は外せないものだが、牛乳の加工に当町は弱い。施設には大変お金がかかるが検討していく大きな材料だと思う。

問 やまびこテラスとその周辺について町の考えは。

町長 町として必要な支援はやっていく。保有している土地の調整ができていないなら検討していく。どんな要望があるか改めて確認する。

農業機械等補助金について

問 農業機械等導入補助金について補助要件の緩和を。

町長 市町村で個人に補助を出しているところはないが、当町では必要だと思っている。担い手、また一定の農家を支援していかないと農地を守れない。補助要件の緩和、規模拡大をしている農家に対する支援策は考えてみる。



みのわテラス

その他の質問

- 買い物弱者、免許返納者対策でデマンドタクシーについて
- 合葬式墓地建設と樹木葬について
- 町内の飲食店について町長からのメッセージの発信は

私たちの抱負

(議席番号順による)



議席番号①

伊藤 隆

いとう たかし

新型コロナウイルス感染症の早期終息により、町内の各種団体との交流や、県内及び県外研修等の議員活動の再開を祈っています。



議席番号②

岡田 建二郎

おかだ けんじろう

コロナ禍の中でも、引き続き子どもも高齢者、業者や労働者の皆様のご要望をお聞きし、政策提言と町政のチェックに努めます。



議席番号③

青木 俊夫

あおき としお

町民の皆さんの日常生活の中での心配ごとや要望等しっかり聞き取り、行政に声を届け解決する事を最優先に取り組みます。



議席番号④

釜屋 美春

かまや みはる

「小さな声を大きく実現!」をモットーに、若者・女性が輝く箕輪町のため、現場に足を運び皆さんの声を町政に反映してまいります。



議席番号⑤

唐澤 敏

からさわ さとし

活力のあふれる人いやましい町づくりを目指し、人口減少社会のなかで、コロナ禍による課題も踏まえ、政策提言力を高めていきます。



議席番号⑥

入杉 百合子

いりすぎ ゆりこ

高齢者や障がい者の方々、児童や子育て中の方々のため、寄り添いながらお役に立ちたい。なり手不足の問題にこれからも取り組んでいきます。



議席番号⑦

木村 英雄

きむら ひでお

安心して子育てできる環境、子供たちが健やかに育つ環境づくり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりに取り組みます。



議席番号⑧

松本 五郎

まつもと ごろう

コロナ禍で感染拡大が大問題になっている中、命と健康をどう守るか、暮らしと営業、子どもと教育をどう守るかを重点課題にして励みます。



議席番号⑨

金澤 幸宣

かなざわ ゆきのぶ

「箕輪町民であることは誇りだ!!」本当の意味でそう言えるよう、この素晴らしい立地環境に新たな創造を構築すべく働きます。



議席番号⑩

中澤 千夏志

なかざわ ちかし

地球の許容枠内の生活を収める改革が必要。科学者の声に耳を傾け、次世代への不利益の緩和策を議論し、モデルとなるような町を目指したい。



議席番号⑪

萩原 省三

おぎはら しょうぞう

賑わいを取り戻す町づくりのため議員として残り2年、頑張る若者の応援、子育て世代の応援、高齢者の外出支援をしていきたい。



議席番号⑫

中村 政義

なかむら まさよし

受動喫煙防止条例の施行を機に開始した月1回のタバコ吸殻回収は、1年あまり経過、ゴミのない美しい町を目指していきたい。



議席番号⑬

寺平 秀行

てらだいら しゅうこう

2年間の皆様のご支援に感謝いたします。コロナを超える感染症流行が予測されています。後半の課題は次の感染症への対策です。



議席番号⑭

小出嶋 文雄

こいでじま ふみお

コロナに負けず、町民の皆さんと意見交換できる機会をつくり、議会として町民との政策提言することを目標。健康長寿の町を目指して。



議席番号⑮

中澤 清明

なかざわ きよあき

『謙虚に、誠実に、正直に!』
初心を忘れずに活動いたします。
・明日に繋げる安心な町づくり
・人口減少を考慮した町づくり
・町政をしっかり監視

総務産業常任委員会

- みのわテラス：ファームテラス・サイクルテラス



オープン前のファームテラス

- ながた自然公園支障木除去予定現地
- としまの森整備事業対象現地

- もみじ湖周辺整備現地：駐車場区画整備、東屋建設予定地等
- 狭あい道路整備等促進事業現地：町道115号線沢・大出地区



- 橋梁長寿命化事業：一ノ坪橋(沢川)、公園橋(帯無川)

福祉文教常任委員会

- みのわテラス：ファームテラス・サイクルテラス
- 文化財調査施設改修工事現場



旧農業集落排水処理施設



寝位入浴(寝たまま入れる浴槽)を視察

- 看護小規模多機能型居宅介護施設(看多機ふうりん)

議会活動日誌



令和3年1～3月までの議会活動の一部を紹介します

1月

- 7・15・22日 議会活動活性化委員会
- 4・5・8・13・15日 議会広報特別委員会



- 22日 財産区議会議員についての学習会

2月

- 3日 臨時会
- 3・17日 議会運営委員会
- 3・17日 全員協議会
- 9・15日 福祉文教常任委員会
- 26日 政策提言書提出(福祉文教常任委員会)

3月

- 1～15日 3月定例会



一般質問はどなたでも自由に傍聴できます



- 12日 現地確認

政策提言

福祉文教常任委員会 令和3年2月26日
町長・教育長に提出

提言Ⅰ 子育てと教育力で地方創生へ

小学校区単位の地域を拠点に「地域コーディネーター」を配置し、子育て、教育における相談事業、学校、区、区公民館、社協、地域と連携して課題に取り組む

- 子どもの貧困《こどもカフェ、学習支援、食事提供、悩み相談地域ネットワークの整備など》
- 不登校・ひきこもり《教育委員会と連携し中間教室的機能提供、社協との連携など》
- ICT教育《区公民館など活用した地域への情報環境整備、不登校、引きこもりへの支援》
- 食育《信州型コミュニティスクールの活動の活性化と地域の皆さんと連携による、地産地消を柱とした食育の推進》

提言Ⅱ 子どもから高齢者まで暮らしやすい共生社会を

- 高齢者の地域包括ケアの推進《看護小規模多機能型居宅介護施設を活用して介護と医療の連携》
- 障がい児の子育て支援《こども発達支援事業所「若草園」の充実》
- 障がい者の就労支援《「農福連携」の推進》

がんばる
元気な子どもたち
サークル
紹介 No.21



ジュニアT.T

いつ頃から活動していますか？

今年度で4年目です。

メンバーは何人ですか？

女子12名(箕輪中学校3年4名・2年8名)

いつ活動していますか？

平日の火・木曜日の放課後(冬季のみ)
日曜日AM9:00～PM1:00

楽しいことはなんですか？

- ・良いサーブや良いボールが打て、試合でいい結果が残せることです。
- ・学年関係なく練習できる事。
- ・相手の速球を打ち返せるようになった事。

最近の戦績は？

中体連新人戦南信大会4位(団体)県大会出場
中体連新人戦上伊那大会優勝(団体)

今後の目標は？

個人戦、団体戦ともに県大会出場

議会に一言

日頃から運動部の活動について町から支援して頂いていることに、大変感謝しております。武道館に遮光カーテンを設置していただけるとありがたいです。
卓球というスポーツは子供からお年寄りまで幅広く楽しめます。ぜひ、箕輪町でも活性化させていただいて卓球場の新設をお願いします。

箕輪町議会ホームページをご覧ください!

議会に関する詳しい情報を掲載しています。

編集後記

「議会だより」は今回で76回目の発行となります。議員から5人の広報委員が選出され任期は2年間、年4回発行します。町民の皆さんに議会活動を知っていただくために、誌面作りに毎回努力しています。

議会だよりを親しみやすいものにするために名称を「みんなの議会」に変更、写真を多く使い、中見出しを付けるなどの工夫をし、分かりやすい誌面作りに努めてきました。

そして、今回初めて全ページを横書きに変更しました。それにより、数字や記号・アルファベット表記などが見やすくなり、より分かりやすい議会だよりになったのではないかと思います。

これからも広報委員が知恵を出し合い、努力してまいります。町民の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

お気軽に議会事務局までお寄せください。

【議会広報特別委員会】

委員長 松本 五郎/副委員長 釜屋 美春
委員 金澤 幸宣/中澤 千夏志/中村 政義

スマホから



パソコンから

箕輪町議会

検索



または箕輪町HPの からアクセス

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 議会 | 5 議会定例会 |
| 2 議会だより | 6 議会行事予定表 |
| 3 各委員会事業計画・中間報告・最終報告 | 7 議会中継 |
| 4 議会視察・研修報告 | 8 議事録検索 |
| 9 行政視察のご案内 | 9 各議員の公約 |

- 1 箕輪町議会の条例や議員の名簿があります。
- 2 議会だよりの過去のものから最新のものまで読むことができます。
- 3 各委員会の情報が見られます。
- 4 他市町村を視察、報告書を掲載しています。
- 5 定例会について資料等を掲載しています。
- 6 各議員の毎月の行事予定が掲載されています。
- 7 議会の一般質問の動画が見られます。
- 8 過去から現在の会議録を確認いただけます。
- 9 各議員の公約が掲載されています。

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

役場議会事務局
メールアドレス

電話79-3187(直)
gikai@town.minowa.lg.jp